

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和8年度～令和12年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（とねじょうりゅう） 利根上流森林計画区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 とねぬまた 利根沼田森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、群馬県の北部に位置する沼田市、みなかみ町、片品村、川場村、昭和村の1市1町3村に所在する約97千haの国有林野を対象としており、本計画区の国有林の76%が水源かん養または土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>本計画区は、都心部に比較的近い位置にありながら天然林が多く、広範囲にブナ林が生育しているなど豊かな自然環境を有している。また、上信越高原、日光、尾瀬などの国立公園や自然環境保全地域に指定されているほか、レクリエーションの森に選定しており、自然環境の保全と森林とのふれあいの場の提供が期待されている。</p> <p>森林の現況は、気象、地況、土壌等の自然に恵まれた地域を中心にカラマツ・スギを主とした人工林が分布しており、計画区内の人工林率は31%となっている。人工林の齢級構成は9齢級以上の森林が90%を占めており、県内外の大型製材工場やバイオマス発電施設等への木材の安定供給が期待されている。</p> <p>以上のように、本計画区の国有林野は、水源の涵養、山地災害の防止、木材をはじめとする林産物の供給などの機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところである。また、近年、これらの機能に加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の有する多面的機能の発揮に対する国民の期待がますます高まっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能及び山地保全機能等の持続的な発揮を図るため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、主伐跡地における植栽等の更新作業、下刈や間伐等の保育作業並びにその効率的・効果的な実施に必要な路網の整備を実施するものである。</p> <p>事業の実施に当たっては、作業効率の向上とコスト縮減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムを推進するとともに、保育作業等の実施箇所では、効率的でかかり木の発生が少なく労働安全性が高い列状間伐の実施、下刈回数の縮減や機械化による軽労化、伐採時の生産性向上、獣害防止対策などの取組を推進する。なお、植栽樹種がスギの場合には、原則として花粉の少ない苗木への移行を図ることとする。</p> <p>これらの取組は、国有林が先頭に立ち民有林に波及させる必要があるため、引き続き、本事業を実施する中で現地検討会等を積極的に開催し、県や市町村とも連携</p>		

	<p>して取り組んでいくこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 森林整備 更新面積 990ha 保育面積 6,545ha 路網整備 開設延長 78.78km 改良延長 11.44km ・ 総事業費 23,156,196 千円（税抜き 21,051,087 千円）
費用便益分析	<p>総便益（B） 37,591,819 千円</p> <p>総費用（C） 29,597,114 千円</p> <p>分析結果（B／C） 1.27</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。事業の効率性や生産性の向上につながる成果は、現地検討会やホームページでの結果の公表等を通じて、民有林関係者等への普及・定着に取り組まれることを望まれる。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に資する事業であり、事業の実施を通じて生産されたカラマツ・スギ等の木材の安定供給による地域の林業・木材産業の振興に加え、適切な森林整備による国土保全・水源涵養機能の維持・増進を図ることにより、首都圏の水がめである水源地域としての役割を果たすことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備については、列状間伐の実施やコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムの推進、下刈回数削減及び高性能林業機械導入による低コストで効率的な作業システムの推進により事業コストの削減とともに、わな捕獲や防護柵の設置、忌避剤散布によるシカ等の被害防止対策を図ることとしている。また、路網整備においても、森林整備が困難であった箇所への林業専用道の新設や路体の拡幅、舗装などの既設路網の改良がアクセスの向上による事業区域の拡大につながり、森林整備の促進が図られることから、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮される。また、整備した路網を活用した森林資源の循環利用が図られており、引き続きその効果が発現されると見込まれる。さらに、スギ人工林等の伐採、花粉の少ない苗木への植替えによる花粉発生源対策や希少猛禽類の生息環境の保全にも寄与するこ

とから事業の有効性が認められる。

新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能類型区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：群馬県

施行箇所：利根上流森林計画区(利根沼田森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,320,060	
	流域貯水便益	1,044,573	
	水質浄化便益	2,722,527	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,886,910	
環境保全便益	炭素固定便益	1,044,316	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,440,943	
	木材利用増進便益	403,876	
	木材生産確保・増進便益	2,999,489	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	15,729,125	
総 便 益 (B)		37,591,819	
総 費 用 (C)		29,597,114	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,591,819}{29,597,114} = 1.27$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{58,007,794}{34,293,001} = 1.69$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{73,750,297}{37,314,631} = 1.98$

森林環境保全整備事業
利根上流森林計画区 事業概要図
(利根沼田森林管理署)



森林整備

更新面積 990ha
保育面積 6,545ha

路網整備

開設延長 78.78 km
改良延長 11.44 km